

# 国際学術情報流通基盤整備事業

資料No.3-3

我が国の学協会が刊行する学術雑誌について、国際的に通用する学術雑誌を育成し、情報発信力の強化及び電子化を一層推進するとともに、オープンアクセスに対応した学術雑誌パイロット事業を推進することにより、我が国特有のオープンアクセスモデルの形成を図る。

## 目的

学協会の電子的出版活動の促進と日本の学術雑誌の国際的評価の確立

一流の国際的学術雑誌を育て、日本からの研究成果の海外発信を強化する

## 現状

国立情報学研究所が、国際学術情報流通基盤事業により、我が国の28学協会等と連携し、英文学術雑誌45誌に対して、国際化・電子化の支援を推進している

## 課題

我が国の学術雑誌の情報発信力の強化、そのための電子化の一層の推進とオープンアクセスの推進が必要

英文学術雑誌の電子化及び公開を促進してきたが、必ずしもオープンアクセス化は進展していない

海外に対する我が国の学術雑誌出版者のネットワークを強化してきたが、さらにオープンアクセスに関する、大学図書館との連携活動と研究者に対する啓発活動が必要

(参考)

「大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)」

(平成21年7月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)

我が国の学協会が刊行する学術雑誌を国際競争力を有するものとして育成する観点から、オープンアクセスに対応した学術雑誌についてパイロット事業的に重点支援を行う仕組みを設けることも考えられる。そのため、国立情報学研究所が実施するSPARC Japan(国際学術情報流通基盤整備事業)の拡充を含め、その推進方策について検討していくことが考えられる。

## 事業内容

国際的に通用しうる英文学術雑誌を支援

### 国際学術雑誌パイロット事業の推進

- ・我が国の優れた電子ジャーナルの国際発信力をさらに強化
- ・学術雑誌の国際的な編集・査読・流通システムの構築支援の強化
- ・海外プロモーションの強化

### 我が国特有のオープンアクセスモデルの形成

重点支援

### 国際連携のもと学協会電子ジャーナル出版活動の展開を支援

- ・学術雑誌の電子化・国際化、ビジネスモデル構築の支援
- ・パッケージ化、ポータルによる情報発信の支援
- ・SPARC等との国際連携の推進
- ・大学図書館との連携を基礎とした事業展開

連携

国公立大学

国立大学図書館協会  
公立大学協会図書館協議会  
私立大学図書館協会

米国SPARC  
欧州SPARC

科学技術振興機構

## 波及効果

学術雑誌に関する国際的なコミュニティの形成

事業の活動を通じた若手人材の育成

学術雑誌の新たなビジネスモデルの創出

大学図書館等との連携による学術情報流通基盤の強化